戦略 1 國學院高等学校の社会的評価が確立されている。

行動計画のストーリー

進学実績や生徒の質（積極性・高い集中力・グローバルな視点・公共心を持つ）という本校の魅力が、中学生を惹きつけ、文化祭・学校説明会等への参加者が増加する。また、志願者も増加する。そこで有能な人材を選抜することができ、本校で知・徳・体のバランスの取れた人材として成長していった結果、国際社会に貢献する人物をより多く輩出できるようになる。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
〈入試〉前年度からの4回入試（推薦・一般1～3回〈少子化対応〉）実施の検証・改善	〈入試〉受験生の併願パターンから定員・日程を最適化	〈入試〉志願者の増減を見極め、適切な対策を検討（第1志望優遇制度・W出願加点など）	〈入試〉志願者の増減を見極め、適切な対策を検討	
〈入試〉WEB出願導入開始				
		〈入試〉英検取得等による内申加点などを検討		
〈広報活動〉学校説明会・文化祭時の学校説明会・学校見学会・オープンスクール（入試問題解説）の検証・改善				
〈広報活動〉男子生徒の募集対策の強化				
	〈広報活動〉ホームページ内容の整理と改良	〈広報活動〉広告の見直し		

評価指標

● 文化祭来場者数　8,288名

8,400名	8,500名	8,600名	8,700名	9,000名

● 学校説明会（全5回）参加者数　6,236名

6,300名	6,350名	6,400名	6,450名	6,500名

● 入試志願者数　1,675名

1,750名	1,800名	1,850名	1,900名	2,000名

● 入学志願者における第1志望の割合　41.1%（688名）

45%	47%	50%	53%	55%

達成後の姿

柔軟な入試制度や、広報活動の強化によって、偏差値ではなく、本校の持つ固有の価値を評価している。

戦略 2 生徒は、個々の目標の達成に向けて、主体的に活動している。

行動計画のストーリー

研修等でスキルアップした教職員が優れた進路・学習・課外活動の指導を行い、その環境のもとで生徒たちはモチベーションをアップさせ、個人の目標を達成しようと努力する主体性が育つ。その結果、国際社会に貢献するに足る、知・徳・体のバランスの取れた人材へと成長していく。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
〈学習環境〉各学年の学習対策の強化	模試対策の検証・改善			
〈進路環境〉進路学習の強化	2年次文理選択の検証・改善／3年次出願指導の検証・改善			
〈課外活動の環境〉外部施設（硬式野球場・サッカー場など）の調査／國學院大學・渋谷区・新宿区との交渉・確保	外部施設に関して、その他の施設の調査・交渉継続			

評価指標

● 「2015年度卒業時学校満足度アンケート」学習面（授業は全般的に満足できるものでしたか?）における結果
大変満足21.7%／まずまず満足64.3%／どちらとも言えない2.2%／やや不満足2.2%／かなり不満足1.2%

大変満足30%	大変満足35%	大変満足40%	大変満足45%	大変満足50%

● 外部施設確保のためのネットワークの構築数　1

2	3	4	5	6

● 広いグラウンド（硬式野球場・サッカー場など）の確保日数　25日

30日	35日	40日	45日	50日

達成後の姿

教職員の進路・学習・課外活動の指導のスキルアップによって、多くの生徒が主体的に個人の目標を達成できている。

※ネットワークの構築数:大学や地方公共団体との交渉の窓口数

戦略 3　生徒は、チャレンジ精神・リーダーシップ・高い集中力・グローバルな視点・公共心を身につけている。

1 ↑ ★ ↑ 5

行動計画のストーリー

生徒は、学内での活動やしっかりと整備された各種研修に主体的に参加し、そこで積極性（チャレンジ精神やリーダーシップ）・集中力・グローバルなコミュニケーション能力・公共心を身につける。そして、いつ社会に出ても恥ずかしくない人物（国際社会に貢献するに足る、知・徳・体のバランスの取れた人材）へと成長していく。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
〈生徒会・部活など〉生徒会委員・生徒会執行部の活動・クラブ活動・学校行事・学級活動への積極的参加／ボランティア地域清掃・地域行事への参加／学校行事の来場者に対する案内のお手伝い／各種研修に積極的に参加				
〈海外語学研修〉カナダ・オーストラリアへの海外語学研修（1年）・集中語学研修（2年）の定着・参加人数安定化		〈海外語学研修〉カナダ・オーストラリアへの海外語学研修（1年）・集中語学研修（2年）の内容の充実・質の向上		
〈海外語学研修〉3年対象海外留学の人数拡充	〈海外語学研修〉3年対象海外留学の人数拡充	〈海外語学研修〉3年対象海外留学の人数拡充	〈海外語学研修〉3年対象海外留学の人数拡充	
〈国内語学研修〉英語研修の定着・参加人数安定化。生徒、本校教員、ネイティブ1名、英検講師1名。日常英会話・英検対策講座を並行して行う。教員と生徒が一緒に教養を高められるような英語活動を目指す	〈国内語学研修〉研修後に新しいプログラムを検証し、問題点を洗い出し改良していく			

評価指標

● 文化祭来場者数　8,288名（平成28年度）

8,400名	8,500名	8,600名	8,700名	9,000名

● クラブ活動加入率　83%（平成28年度）

80%台維持	80%台維持	80%台維持	80%台維持	80%台維持

● 卒業時満足アンケート　学校行事（大変満足）51.2%　クラブ活動（大変満足）52.9%

（学校行事）55%	58%	60%	63%	65%
（クラブ活動）55%	58%	60%	63%	65%

● 海外語学研修参加者（定員に対する割合）　100%

100%維持	100%維持	100%維持	100%維持	100%維持

● 国内語学研修参加者割合　43%（定員60名中26名）

55%	60%	65%	70%	100%

● 3年留学（補助金付き）参加者数／割合　6名／50%（定員12名中6名）

8名／75%	10名／83%	12名／100%	12名／100%	12名／100%

達成後の姿

学内および学外の活動に生徒が積極性（チャレンジ精神やリーダーシップ）・高い集中力を発揮している。また、海外および国内の語学研修の充実によって、異文化を十分理解し、グローバルなコミュニケーション能力を身につけている。さらに、生徒は公共心・ボランティア精神もしっかりと身につけている。

戦略 4　優れた進路・学習指導体制が構築されている。

2 ↑ ★ ↑ 6

行動計画のストーリー

学習指導体制の充実を図り、進学実績が量的にも質的にも向上することによって、国際社会に貢献するに足る、知・徳・体のバランスの取れた人材を育成することが出来る。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
現行の進路学習の充実化をはかり、進学実績につながるようにする	進学実績のさらなる向上を目指す			
國學院大學との連携における選抜推薦試験制度の拡充検討 また、國學院大學ガイダンスなどを実施して連携を深めていく	高大連携における選抜試験制度の拡充検討			
大学入試改革に適応した新しい進路学習プランの作成準備 「新テスト」（「大学入学希望者学力評価テスト」と「高等学校基礎学力テスト」）実施内容の精査	1年生に対し「新テスト」の情報提供と対策指導開始	2年生に対し新テストの情報提供と対策指導	全学年に対し新テストの情報提供と対策指導	
外部講師による進学講習・英検講習を設置 授業担当講師と各教科で綿密な打ち合わせを経たうえで共通テキスト作成を行う	チューター制度の検討・実施（下位層対策）			
土曜日講習の検討・実施（上位層対策）				
英検講習を季節講習時に設置し英検受験を奨励し、2級保持者の増加を目指す				

評価指標

● 合格実績（延べ人数）　国公立・私立難関大学:445名

460名	490名	510名	530名	560名

達成後の姿

大学入試改革に適応した新しい進路学習プランの構築、外部講師との連携、國學院大學との高大連携等、学習指導体制が強化され、進学実績が量的にも質的にも一層向上している。

戦略 5　各種研修体制が整備され、生徒および教職員が積極的に参加している。

2 3 ★ 6

行動計画のストーリー

各種研修への参加率を高め、人材育成のための研修制度が質量ともに充実することによって、国際社会に貢献するに足る、知･徳･体のバランスの取れた人材を育成することができる。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
〈文学（任意）〉秋に文学散歩、春休みに京都文学研修（二泊三日）。文学への興味・関心を引き上げ、学習の動機づけをするのがねらい	〈文学（任意）〉秋の文学散歩の参加者を拡大。春の京都研修に協働的な学習プログラムを採り入れる	〈文学（任意）〉春の5～6月にも文学散歩を実施。京都研修での協働学習の発表会を実施	〈文学（任意）〉春、秋の2回、文学散歩を実施。京都研修での協働学習の発表会を実施	
〈科学（任意）〉宿泊科学研修（春休み）、日帰り科学研修（夏休み）を実施	〈科学（任意）〉科学研修の充実化（アンケートの実施）			
〈歴史（任意）〉本校資料館を中心に「日本文化理解教育」の充実化。宿泊を伴う研修（出雲大社の方面）	〈歴史（任意）〉日本文化理解教育の充実化。複数のフィールドワーク先を検討			
〈裁判傍聴〉2年生全員対象。夏休み。公民科目の課題として実施				
〈スキー（任意）〉菅平高原に宿泊。冬休み				
〈救命〉1年生全員対象。初級救命講習修了証を取得				
〈マナー（任意）〉明治記念館にて、和洋食テーブルマナーを学ぶ。保護者も参加				

評価指標
● 国内宿泊研修の参加率　15%

20%	23%	25%	28%	30%

達成後の姿

さまざまな研修制度が多角的に行われ、多くの生徒が参加し、知･徳･体のバランスの取れた人材育成につながっている。

戦略 6　教職員は、スキルアップをし、教職員同士の協力体制が強固になっている。

4 5 ★

行動計画のストーリー

教職員が内外の研修に積極的に参加し、スキルアップするとともに、さまざまなイベントを通して、教職員同士の協力体制が強固なものになることによって、知･徳･体のバランスの取れた人材を育成することができる。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
授業へのさらなる工夫／公開授業／『外苑春秋』への積極的な投稿／研修への主体的な参加				
教職員間のコミュニケーションを密に取る（各種会議、打合せ、親睦会、各種イベント、スポーツ大会、教職員旅行など）				

評価指標
● 研修への参加率　10%

14%	16%	18%	20%	25%

● 親睦会などのイベントへの参加率　20%

30%	35%	40%	45%	50%

達成後の姿

・多くの教職員が、教科指導力や生徒の能動的な活動を促す能力を向上させている。
・生徒に寄り添いながら、校内における各種研修･クラブ活動に積極的に参加している。
・親睦会等への積極的な参加で、教職員の協力体制･チームワークの意識がより強固なものとなっている。